

碩田学園で改善が必要なのはどんなところでしょうか。

要望・質問	回答
教職員 こちらが挨拶しても会釈のみで、挨拶を返してくれない先生がいる。子どものために、挨拶を大事にしてほしい。	当たり前を高めようという「率先挨拶」を子どもとともに取り組んでいる中、手本となる教職員が「率先挨拶」の姿を見せるべきところ、このような指摘を受けたことを申し訳なく思います。今後、このような指摘を受けることがないように、職員同士の打ち合わせの機会や校長室などを通じて徹底を図ります。
家庭学習は限度があるため、もう少し一人一人に指導をお願いしたい。	一人一人の理解度・定着度を把握し、授業内容と家庭学習とのつながりを考慮したうえで、放課後の補充学習やスキルタイムを活用して個に応じた指導の機会を設けているところです。 今後とも、子どもたちがわかる・できる楽しさを味わい、自発的な学習習慣へとつなげていけるよう家庭学習の取り組み方について指導するとともに、教師ステーションやオープンスペースを活用し、もっと気軽に先生に質問したり友達同士で教え合ったりしながら意欲を高める場や機会を工夫します。
連絡事項を保護者へきちんと伝えてほしい。	学校からの文書や学級・学年などの通信を通して連絡する場合のほか、子どもたちの連絡帳を通してお知らせすることも多いことから、ご家庭でも対話や声掛けをお願いします。また、PTAで運営しているマメールの活用を図るほか、学校のホームページをリニューアルし、新着情報(ニュースや連絡)や日記などの情報を日々更新して、新鮮な情報発信に努めてまいります。
教育体制 小中一貫だからといってなぜ16:30頃終了なのか。帰りが17時過ぎになることがあり心配。委員会活動の日ももっと遅いことがある。門限が17時の時期になったらどう対応するか、考えてほしい。★学校が遅いから、お迎えの車が多いのだと思う。とりあえず10分でもいいから短くしてほしい。中学生と一緒にしないでほしい。	本校では、5、6年生の授業の一部を教科担任制としており、中期と後期の学年は、同一の校時表のもとで運営しています。また、子どもたちの自主性や自治力を高めるうえで重要な児童・生徒会活動を重視しているところです。 こうした中、大きな学校行事の準備や委員会活動のための時間が必要な場合には、特別日課(授業時間の短縮)で対応するなどとして、放課後の時間を確保するとともに、登下校時の見守りボランティアの方々にて下校時刻の変更をお知らせするなどとして、下校時の安全面に配慮した対応に努めているところです。ご理解をお願いします。
朝の挨拶運動は、距離によって前半・後半と担当を分けるなどしてほしい。負担が大きい。	児童生徒の様子を見て対応します。
クラブ活動の回数が少ない?	クラブ活動の時間について、現行の学習指導要領のもとでは一定の時間を確保しなければならないということにはなっておりません。本校では、教育課程に基づき行事との兼ね合いで実施日を決定し、今年度は年間で5回実施することとしています。
5・6年の位置付け。(中期に合わせるならすべて合わせてほしい)	本校では、児童・生徒の心理的な発達段階を考慮して4・3・2制を導入し、とりわけ中・後期において集団の機能を生かした教育活動を計画的に実施することで児童生徒の自己肯定感を高め、いわゆる「10歳の危機」や「中1ギャップ」の解消を図っています。こうした中、中期(5～7年生)の授業時間帯や児童・生徒会関連の行事は、後期(8・9年生)と合同で行うことが多くありますが、授業での学習内容は小学校学習指導要領に沿って実施していますので、活動によっては、中・後期のくりだけでなく、1～6年と7～9年のくりでの対応となります。
5・6年生の行事をもう少し考えてほしい。	小学校高学年のリーダー性につきましては、5年生の「のつはる少年自然の家宿泊体験学習」や6年生の「修学旅行」の場のほか、体育集会や音楽集会など、1～6年生で活動する行事や縦割り班活動での交流などを通じて計画的に養ってまいります。 今年度につきましては、4年生が前期のリーダーとなり、秋季大運動会を実施しましたが、このように、義務教育9か年全体で見ますと、4年生、7年生の段階でそれぞれの期に応じたリーダーシップを発揮する経験を経て、最高学年となる9年生がより幅広い年齢層で構成される全校のリーダーとなる姿を見たり、自らの立場となる機会を得ることができるなど、リーダー性を養う場や機会がこれまでの6・3制と比してより充実するものと考えています。 今後とも、目的や内容に応じて、多様な集団の中で多様な教育活動を効果的に展開する中で、リーダー性や自治力を高められる本校の大きな特色を生かしてまいります。
小学校の高学年のリーダーとしての存在が薄い。前期の運動会は1～6年生でやってほしい。	来年度については、1～9年全校での実施とする方向で検討しています。その際、今年度、4年生がリーダーとなり1～4年生主体の運動会を実施したことの成果をどのように生かしていくかといったことも含めて考えてまいります。
9年生は受験生にもかわからず、小1からまとも、子どもたちへの発信は分かるが大変すぎて責任も重すぎ仕事も多すぎな気がする。受験生ということをもう少し考えてほしい。小学生までは無理がありすぎるように思う。	本校では豊かな人間性や社会性を育むため、義務教育学校の特徴を生かし、期別や全校行事に縦割り班活動を取り入れています。9年生は全校のリーダーとして体育大会や文化祭などの大きな行事において活躍するとともに、碩田学園最初の卒業生となる自覚をもとに、日常の活動の中でも、仲間を大切に、常に笑顔で1から8年生のよきお手本、あこがれの存在となる態度で学校生活を送るなど、著しい成長の姿を見せています。
9年生に対してもう少しねざらしてほしい。下級生のすべての世話は職員がすべき。	受験生であることを考慮すべきのご意見を十分に尊重する中で、今後とも、教育の目的が人格の完成とより良い社会の形成者の育成であることを念頭に知・徳・体のバランスのとれた育成に努めてまいります。
きめ細かい対応してほしい。(生徒数が多く、開校間もないが)後手後手になることがあると感じる。	このように感じられているということを私たち教職員がしっかり受け止め、これまでの子どもたちへのかかわり方等を今一度見直し直す機会とします。落ち着いた環境づくりに努め、一人一人の子どもたちにしっかり向き合っていきます。
学校行事や運営などバタバタしている。先生たちが忙しすぎて子どもたちに気がまわらないのでは?	9年間を見直し、発達の段階に応じた教育活動を行い、実施上の成果や課題を踏まえて、必要に応じて見直しも行っていきます。
一貫教育といえど、学年に適した活動内容を。(各期の枠にとらわれすぎないように)	9年間を見直し、発達の段階に応じた教育活動を行い、実施上の成果や課題を踏まえて、必要に応じて見直しも行っていきます。

縦割り掃除などで低学年とのかかわりの時間があるとよい。	異学年交流として縦割り班活動を計画的に行うことにより、思いやりの心など「心育て」の充実に努めています。縦割り掃除はその一つとして考えられますので、今後部分的にでも実施を検討したいと考えています。
子どものかかわり方を見直してほしい。(前学校の子どもの中心の扱いで少し不安)	このように感じられているということを私たち教職員がしっかり受け止め、これまでの子どもたちへのかかわり方等を今一度見つめ直す機会とします。落ち着いた教育環境づくりに努め、一人一人の子どもたちもしっかり向き合っていきます。
授業中は集中できるように教室の仕切りをしてほしい。(廊下の声が響いて集中できない)	様々な学習活動に応じたスペースの活用ができるように教室のドア(扉)も工夫されています。他学級(学年)と連絡を取り合い、授業の内容によって教室のドアを開めるなど学習に集中できる環境づくりに努めていきます。
文化部の部活動が少な過ぎる。書道部や美術部を増やしてほしい。文化系の子は部活をするな!ということなのか。	生徒・保護者からの要望や指導体制などを勘案し判断します。 なお、美術に関しては、部活動ではありませんが、美術科教師の指導のもと愛好する生徒を募集し、放課後アートクラスを随時開催しています。 また、水泳部については、バドミントン部や新体操部と同様、部員は社会体育の場で活動し、本校の部活動として中体連の大会にも出場しています。
部活で水泳部がないようだったらぜひつくってほしい。	
部活動を増やしてほしい。アリーナが2つあるので、卓球部等も。	
アリーナが2つもあるのに、部活動がバスケ部のみ。バレー部や卓球部もつくってほしい。	
部活動のあり方。アルコールを出す店でのお別れ会や子ども同士での飲食店での食事など、引退時の品代など学生の域をこえている。学校側からも指導を。人を罵るような言葉での指導は考え物。	ご指摘、ありがとうございます。お別れ会等の開催場所や生徒同士での飲食店の利用のほか、引退時の品代などについても、任意の活動とはいえ、部活動が学校の教育活動の一環として実施されていることを踏まえて、各部毎に顧問と保護者会で協議をしていただきたい問題です。 部活動中における指導者の言動(指導の在り方)についてはもちろんのこと、部活動に限らずいかなる教育の場においても、人格の尊重が基本であることを改めて徹底してまいります。
PTAを月末、月初にするのはやめてほしい。仕事が休みづらい。	中旬開催のご要望が大多数でしたら、PTAの執行部とも相談したいと考えています。
PTAの開催は同一日2学年にしてほしい。授業も懇談も重なり、十分に参加することができない。)	本年度は、保護者会を4日間に分けて行っています。(1・2年 3・4年 5～7年 8・9年)これ以上開催日を増やすと、その他の学校行事の設定が難しいですが、PTAの執行部とも相談したいと考えています。
参観日を2学年にしてほしい。(5～7年が同一日では、兄弟がいると片方しか出られない)	
学年・人数が多いのでアリーナなどの特別教室の使用ができにくいのでは。	ご心配ありがとうございます。本校は校舎の設計段階から、学級増にも対応できるよう、普通教室や特別教室については余裕のある数を確保したうえで、中休みや昼休みのアリーナの利用についても、学年ごとで曜日を割り振りをしています。また、学年間での調整も行っており、問題は生じていません。
荷物が重すぎる。6階まできつい。その日の宿題に必要でない分を、もう少しロッカーに置かせてほしい。	美術、音楽、技術・家庭、保健体育の各教科については、教科書や資料集などは教室保管(いわゆる「置き勉」)可としています。その他の教科についても、資料集等については、家庭学習で使用しないときには教室保管可としています。 教科書、ノート、ワークブックについては、その日の授業内容を復習するためには必要なものです。その日の課題のみならず、自主的計画的な学習を身につけるために、持ち帰りを原則としています。
荷物が重たすぎる。家庭学習で使わない副教材などは学校に置けるようにしてほしい。インターネットで何でも調べられるため。	
美化委員が傘の入ったバケツ(大)を6階の教室まで持って上がり、掃りには下すが、何かメリットはあるのか。忘れ防止であれば、別の方法を考えた方がいいかと。	傘バケツの持ち上がりは、美化委員会の活動として、現在後期(8、9年生)の学年で行っています。傘の忘れ物防止のほか、紛失等の防止のために行っているところではありますが、美観を保持するうえからも効果があると考えています。上げ下げに関して生徒の負担が大ききようであれば、運搬方法について検討したいと思えます。
学年カラーはどの程度必要なのか。兄弟でお下がりができず、不便な面がある。	学年カラーを使用しているのは、上靴のみです。現在、後期に当たる8、9年生については、福田中学校入学時の制服や体操服を着用していますので、学年によって色が異なりますが、1～7年生については、2年間の移行期間を経て全学年同じものを着用することとなります。「お下がり」にも対応できるよう、ネームの色のみ変更すれば良いようにしていますので、ご理解をお願いします。
ことばの教室を設置してほしい。	大分市内での言語通級指導教室(ことばの教室)は、現在、金池小、宗方小、鶴崎小の3校に設置されています。学級の設置に関しては、県教育委員会の所管事項ですので、必要に応じて市教委と相談してまいります。
たんぼぼ学級(支援学級)についての説明が親になく、子どもにどう話せばよいかわからない。先生方から子どもたちに話しているのか知りたい。	該当学年の保護者の皆様には4月保護者会時にお話し、子どもたちへは4月・7月の2回お話ししております。

情報	普段の学校の様子が見えないので教えてほしい。	通信やホームページでの情報発信に努めるほか、修学旅行や自然の家などの宿泊を伴う学校行事の際には、PTAが運営するマ・メールを活用し、リアルタイムな情報発信にも対応しています。
	前・中・後期の目標など先の見通しを保護者向けに情報発信してほしい。(何回も)	
	行事が直前にならないと具体的にわからない。大きな行事は早めに知らせてほしい。不確かな情報が聞こえてくる。	早めにお知らせするように努めます。
	中学受験を検討してるので、卒業式や修学旅行、卒業アルバム等の有無の情報がほしい。	卒業式は9年、修学旅行は6年と8年、宿泊体験学習は5年と7年でを行います。卒業アルバムは、お子様が4年生に進級した際に、5年先を見据えて制作するかどうかについて、保護者会を開催して検討していただき、制作となった場合には委託業者を決めて準備を進めることとします。
ホームページを充実してほしい。	ホームページについては、10月初めに全面リニューアルを行い、新着情報(ニュース)や日々のトピックなども掲載しています。また、月ごとの学校行事の予定表や学校からのお便り(学校通信「碩愛」のほか食育ニュースや保健だより)なども発行の都度アップしています。 碩田学園のホームページは、リニューアル3週間足らずで2,000回近いアクセスをいただきました。アクセス回数が増えるほど、検索も容易になりますので、より多くの方々に頻繁に閲覧していただくとありがたいと思っています。 なお、新ホームページについて、ご意見やご感想があれば、おきかせください。	
子どもの問題行動について具体的に知らせてほしい。どのくらいの年齢でどんな問題が出てくるのか、どんな手を打てばよいのか知りたい。	そうした話題についても、学校だより「碩愛」で紹介するなどして、学校と保護者と一緒に考えていきたいと思っています。例えば、いじめについてはどの学年でも起こりうる問題ですが、発生した際に、当事者間の問題として対応するのではなく、学級・学年全体の問題として取り扱うことが重要だと考えます。そうすることで、学級や学年の集団としての「正義」が成立し、いじめを許さない雰囲気を作り上げていくことで再発防止につながります。 このほか、万引きといった問題行動については、物事の善悪が分からない幼い時から発生する場合があります。また、ギャングエイジと呼ばれる3、4年生くらいから複数人の中で発生する例も見られます。 子どもの発達段階や一人一人の特性を踏まえた問題行動への対応の在り方については、保護者会(学級懇談会など)でもぜひ話題にしていきたいと思います。	
安全	登下校時の保護者による見守りやパトロールを実施したほうがよいのでは。(PTA活動になると思うが)	登下校時には地域の見守りボランティアや保護者の方に子どもたちの安全を見守っていただいています。より組織的な取組として、今後の検討課題として受け止めます。
	防災対策を徹底してほしい。訓練など声かけてほしい。	本校では、地震、津波、不審者の侵入、火災などを想定した訓練を年間を通じて計画的に実施しています。また総合的な学習の時間に「防災」についての学習を行っています。こうした中、10月19日には、本校の消防設備を活用した総合的な防災訓練を実施しました。今後、訓練の実施にあたり保護者の方々にもご協力をいただきたいときには、PTAを通じてご相談をさせていただきます。
施設	遊具を早く設置してほしい	9月11日から遊具設置の工事に入り、29日までに完了し、現在、中休みや昼休みを中心に元気に外遊びする姿がみられるようになりました。
	遊び場を確保してほしい。	小グラウンドが完成しましたので、大小アリーナやプロムナードも含め安全面に留意しながら全学年が利用できるようにしています。
	工事が早く終わってほしい。	外構やグラウンド整備、交流広場の建設など、今年度中に予定されている工事が順次進められ、平成30年3月末までに完了することになっています。 児童生徒の学習活動や安全面に支障が生じないように、現有の施設の有効活用を工夫しているところです。
	もっと換気ができるように。	サーキュレーターや空調設備等の活用を図り、空気の循環に努めています。
	4年の教室はギューギュー詰めの感じ。4組があってもいい。これで9年生までいくのか。	現4年生は1クラス当たりの人数が、県の教育委員会が定める基準値(40人)に近いいためか、窮屈な感じを受ける方もいるかとは思いますが、教室の広さは基準を十分に満たしたもとなっておりますので、整理整頓を心がけ、整然とした教室の環境づくりに努めていきます。
	外階段の雨よけ、滑り止め(雨の日に走る子がいて落ちそうでとても心配)	子どもたちへの安全指導の徹底を図ってまいります。
	広くて迷うので、標識があるとわかりやすい。	ご指摘ありがとうございます。教育委員会に相談して、入口案内図を準備を進めています。10月24日に校舎東側、南側、北側の3か所の掲示板に設置を完了しました。
	駐輪場は夜真っ暗で、鍵穴がわかりづらい。	駐輪場はアリーナ棟入口の西側に設置しています。アリーナ棟周辺の照明については、夕暮れ時から23時までの間に点灯するよう設定されていると説明を受けていますが、天候や日照時間に応じて点灯開始の時間が調整できるよう、市教委に相談したいと思っています。
	門にロックがあるといい。	登下校の時間以外は常時閉じるようにしていますが、地域の方や施設を利用される方の出入りもありますので、ロック(施錠)はしていません。
	保護者用駐車場の整備(遠くから具合の悪い子を迎えに来るケースなど) 駐車場(育成の迎えのため) 保護者(来賓)用駐車場の設置。計画にあつたはず。	駐車場については、外構工事と並行して整備が進められています。今年度末(平成30年3月末)までにはアリーナ棟北側や東側に新たな駐車場が整備されますので、一部、保護者や来客者用の駐車スペースとして利用していただけるものと考えています。

その他

大規模になったせいもあるのか、学校との気持ちのうえでの距離が大きくなったような気がして少し寂しく思う。もう少し学校公開などがあるとよい。	学校公開日については、11月1～3日を予定しています。地域の皆さまにもご案内し、本校の児童生徒の様子をご覧いただきたいと考えています。
育成に行くときは、外から行かないで中から行ける体制をとってほしい。(急な雨の時など)	児童育成クラブの方針として、下校して帰宅(クラブへ)するという考え方と聞いていますので、校舎内を通り抜けての移動は考えていません。
1年生からの制服導入はどうなったのか気になる。	制服を全学年で導入することは決定事項です。その中で、制服のデザインや導入の時期などについて、昨年度、荷揚町、中島、住吉の3小学校及び碩田中学校の保護者代表の方々などで構成する委員会において、保護者アンケートを実施して検討した結果を受け、開校準備委員会において「前期(4年生以下)は開校初年度の導入を見送る。」と決まった経緯があります。
小学生からの制服は早い。活動だけ中期扱いでよいと思う。	11月1～3日の学校公開日から当分の間、校舎2階正面玄関を入ったところに前期用の制服を展示しようと考えています。また、2学期末に来年度以降のいつの時期に、どのような方法で導入するか(一斉なのか、段階的なのか)といったことについて、保護者等を対象にアンケートを実施し、皆さまにもご意見をおうかがいしたいと思います。
低学年と高学年の制服がバラバラなところ。全員私服にした方がよいと思う。完全な企画ミス。	
夏の制服のシャツの裾がズボンからすぐ出る。もう10センチ長くしてほしい。	製造業者に伝えます。
学園なので、本校ではなく、本園ではないのか。	名称は学園ですが、碩田学園は学校ですので「本校」を使用しています。なお、同じ理由で職名も学園長ではなく校長となっています。